

刊夕日四廿月十

常磐新聞

定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
電話 五五五 五五六 五五七 五五八 五五九
發行所 常磐新聞社 印刷所 常磐新聞社
社址 常磐新聞社 印刷所 常磐新聞社

童話町の使ひ

斧青三郎作

(2) 町の方からは、牛舎のおんちやんに引かれた大きな牡牛が、モー、と鳴いて通り過ぎました。又、今朝がた、分教場の前で、會つた木炭賣りの荷馬車が、二臺も三臺も續いて、ゴトン・ゴトンと歸つて來るのでした。

陽ちやんは、元氣よく、(秋の山)の歌を唱いながら高い火の見櫓の下を通つてやうやく町の中に到着したのでした。

精米屋さんも、お菓子屋さん、仕立屋さん、通越して、赤い幟の立つてゐる××屋の店の中に、はいりました。

陽ちやんは、右の手を擴げて見ました。汗ばんだ銀貨を見て、ホッと安心しました。

「アラ! アラ? 何ンダツケ?」

陽ちやんは、餘り急いで來たので、大切なお買物の名前をすっかり忘れて了つたのでした。

「何んだつけ?」

陽ちやんは、小さな腕を組んで、何回も考えて見たけれども、どうしても、ど

うしても思い出せませんので、とうとう、ワツド泣き出してしまいました。

すると、いつも親切にして呉れる、××屋の姉ちやんが、出て來て、色々慰めながら尋ねて呉れましたが、陽ちやんは、思い出さうともせず、たゞ悲しくて、悲しくて、泣いてばかりゐるのでした。

店屋の姉ちやんも、とうとう困つて了つたので。「では、坊や、お姉ちやんが、あの邊まで送つてあげ

るから、もう一度、お家に歸つて誰かに、來ていただきませうネ」

と親切に、いたはつて呉れましたが、陽ちやんは、お家に「行かないヨ」と言つて動きませんので、姉ちや

ノット

水一斗に 鹽二升五合をよく

煮沸し、その中へ澱粉を入れて密閉する、これでは二週間で完全に抜ける

んは、ではおんぶをして行

うとしました。「ネー、おんぶだから、おんぶなさいナ、日本男兒ナンカ泣くもんぢやないワサー、カイローね、カイロー」

(註) 歸ろうよの言葉と涙を、ふいて呉れたと



テニス (tennis)

飯村 閑舟

心ほどよいストロークいと軽やかにはずむなり君がまことの贈りたるラケットガットの當りよさ

試合のたびに思ふかな奇蹟に勝てし、この苦心かげには母の温かさなさけのかけが宿るなり

それにもまして忘れかねあふらと汗に踏み來たるダブルスコートの友の影慕ふも過ぎし若き夢

地相人事百鑑定
高野島野
易断定
所象

先満 十月二十五日、甲子、六白
先負 十月二十五日、甲子、六白

【白】死別か離別の爲に金の心配する事あり水火の難にも注意南北凶【二黒】離別か死別の愁話に心配する事あり水火の難に注意して南北凶【三碧】我が希望に奔走して大失敗を來す事あれば目上と良く相談が吉未申と丑寅凶【四綠】金錢問題より内輪揉めを來す事あり又長男長女の怪儀にも注意東西凶【五黃】金錢縁談望事等目上の應援を得て吉なり戌亥と辰巳が凶【六白】運氣滯滞の日なれば家内にゴタ／＼を醸す勿れ退き守るに利あり【七赤】金錢縁談望事皆進んで吉利を得る日戌亥と辰

文藝募集

もうお日様が、ぼたん、と山の中におはいらになつて、鳥が、カアカアとお家にいそぐのでした。...完...

己に成なり【八白】長身長女の件か普請の喜悅あると雖も火災眼病に注意東西凶【九紫】病難の爲に金錢の心配あり彼様な日は手足腰の怪儀と紛失物に注意未申丑寅凶

美味で!
評判の...
イワキ
サロシ
電 352

木村外科専門醫院

花柳科 外科 内科
平町五丁目橋際
電話 三九〇

市原醫院

平町田町
電話 一四番

井坂醫院

門專 産婦科 柳病科
入院隨意
平町田町 電話 五五九番

吉田眼科病院

平町田町 電話 六八番

毛糸

今年度新色全部揃へました。何卒御来店下さい。
合名 会社 ハシモトヤ糸店
平町 電話 十四番

平搾乳所

品質第一
電話 三六八番
平町・九品寺前

不二タクシー

秋!
爽やかな秋の旅を不二の車で日光鬼怒温泉附近案内一部差上げます
電話 32番

平町の交通量

一日の通行者六千人

晴天なれば約四割方増加

既報平土木監督所では去る十八、廿一、廿二の三日間全管内の秋季交通量調査を實施し目下集計表取纏中であるが平町一丁目街に於いて調査した交通量に依ると往行者一萬六千五百四十五人、荷車五百九十一台、自轉車六千七百四十一台、自動車千四百七十六台、牛馬車二百十臺に及んで居る

が本年は本町通りの側溝工事と降雨の爲めに昨年に比し各種交通量共四割の減少を見た因に各種別交通量の一平均数は左の如くである

徒行	五、五一五
荷車	一九七
自轉車	二、二四七
自動車	四九二
牛馬車	七〇

町營電氣

平町の資源に

今後實際調査

鐵道給水も交渉

昨廿三日午前十時より平町役場會議室に開かれた町是調査委員の第一回資源調査會は電氣町營に關し具體的に調査する事となり仙臺、酒田、鶴岡、須賀川等各市町營電氣の實際を知る爲め参考資料を求むる事となつ

農林省技師一行

各漁港工事視察

既報農林省水産局の小田技師及び大泉、桑原兩技師の一行は去る廿一日來平町の阿部技師及び小林平土木監督所長の案内で直ちに小濱の淡水船溜場より小名濱、

江名、豊間の各漁港を視て四倉町に入り築港視察の上同漁港工事促進に就いての陳情團と面談翌廿二日歸郷した

壽命は永いが

價格が高い

綿絹兩網の比較

既報小名濱町縣立水産試験場では秋刀魚の漁獲に絹絲の流し網を使用し好成績を収めたが現在漁村で使用して居る綿絲網は一年乃至二年位の壽命であるが絹絲網はその倍の年數に耐久力があるため綿絲網は三十圓であるに對し絹絲網は五十圓程かかるので價格の点で一般は尻込みして居る模様である

平商庭球選手が

愈よ神宮競技へ

明日晴れの壯途に着く

既報過般の縣下中等學校明治神宮豫選庭球大會に見事優勝した平商の安島、木田組は愈々来る二十七日より全國中等學校庭球大會が開かれるので必勝を期し明日平發午後二時十五分にて室原教諭に引率され晴の壯途に着くが第一回の組合せは左の如く決定したと

古河庭球

過般一神宮出場

明治神宮庭球大會出場権を獲得した好間古河炭礦の鈴木、田中組及安齊、大石組は来る卅日より明治神宮に於て全國一般男子庭球大會が開かれるので來廿七日平發午後二時十五分に出發

湯本町役場新築

工費一萬四千圓を投じて

湯本町役場は現在の裏手に新築する事になり工費一萬四千圓を以てて工事を進めて居るが木筋コンクリート二階建て本年末には完成する豫定である

平職業紹介所報告

- 回人を求める方
- △運轉助手 二十五迄 尋
- △月五圓(江名町某)
- △養鶏手傳 三十以下 尋
- △月七八圓(平窪村某)
- △小僧 十六才 尋卒 年
- △五十圓(高久村某)
- 回職を求める方
- △土工 二十七才 高卒
- 給料面談(内郷村某)
- △職工 二十七才 尋五修
- 給料面談(赤井村某)
- △外交員 二十九才 商卒
- 給料面談(平町某)
- △雜夫 二十八才 尋卒
- 給料面談(平町某)

磐女生が

勿來に遠足

臨時列車を特發磐女では来る二十六日平發午前八時臨時列車を特發勿來海岸に全校生の秋季遠足運動會を行ふと

專門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重子
女醫 川井安子

耳鼻咽喉科專門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

金銀高價買入

各國時計：眼鏡：貴金屬
御修繕は専門の當店へ

根本時計店

平二(電話六〇七番)

女青講習出席

既報石城聯合女子青年團では來

△シングルズ 宇都宮中
△ダブルズ 岩村本
△平商 松本
△安島 岩村

△體操 關内藥局
△電氣 電話番

怪事件犯人檢舉と 優勝旗獲得が一致

縣下警察界全く驚歎す 横山署長の熱烈な激勵

(昨報)昨廿三日福島市武徳殿に開催された縣下警察官武道大會には福島、若松兩署が優勝候補と目され平署は全然話題にものぼらなかつた程であるが、平署高松佐藤兩剣道選手の物凄く活躍振りには縣下警察界を全く呆然たらしめたが此の大勝を博するに至る迄の横山署長の熱烈な選手督勵は非常なものであり各選手又署長の意を体し猛烈に奮闘した結果遂に榮冠を獲り得るに至つた然も當日

横山署長は湯本の怪事件犯人檢舉の爲め早朝より湯本に出張して

司法部員を指揮し平町に引返すや直ちに二番列車で福島に駆付け選手を激勵中怪事件犯人檢舉の吉報を受け選手達も勇氣百倍見事に平署の優勝旗獲得は實に十三年目 振りにて横山署長は在任中決して此の優勝旗を他には譲らないと壯んに氣焔を擧げて居る

安倍季雄氏を招き 婦人と女青總集會

來月三日第二校講堂に
會員も意見發表

平婦人會では來る十一月三日午前十時より第二校講堂に於て總集會を開き通俗講演の泰斗文部省囑託安倍季雄氏を招き婦人及び育児問題に關する講演を乞ふ外會員の意見發表として家庭改善に關する實驗談等があるが女子青年團でも翌四日午後零時半より同所に於て總集會を開き同じく安倍季雄氏の講演がある筈

遠く南米へ 成績品を發送 移植民慰安に

本日平第二校から

平第二小學校では本日南米ブラジルに於ける本縣の移植民を慰問する爲め左記兒童の成績品を發送した

(綴方)二年 鯨岡美喜 三年 黒木智子 四年 酒井良子 五年 關内義子 六年 石山小夜子 高一 石井フミ子 高二 島田延子

(圖書)一年 酒井泰子 二年 高二渡邊泰子

キヨ子 高一 廣澤好枝 同二小川キン

(書方)二年 廣邊義子 三年 大嶺悦子 四年 櫻村多美 五年 根本ツネ子 六年 廣邊昌子 高一 山野文子

延期中の磐陽野球

愈よ二十九日に決行

雨天の爲め延期中であつた第二回磐陽野球大會は來る廿九日午前九時から磐中、古河、入山三球場で舉行される

平商體育

各種の催し

平商業學校では來る十一月

明日の部

今晩は南西 風晴
曇半し明日は北西の風晴

今晩の部

後六〇〇 子供の時間
お話「路傍の科學」柏木印馬

後六二五 基礎佛語講座
(十二) 目黒三郎

後七三〇 講演「近代戦に就て」統監部幕僚陸軍航空兵大尉 三好康之

後八〇〇 落語「野晒」
子 同二玉木静

明日の部

立川談志

後八三〇 歌謡曲 一、「上の山温泉小唄」唄奴外 二、「大鯉小唄」唄笑子外

後八五〇 浪花節「藝妓と力士」京山泰爲 講談「和井内貞行」(第一席) 丸山金一

後九三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

前六三〇 基礎英語講座
(二十) 岡倉由三郎

前九一〇 料理献立「栗と鯛の丹羽むし」宮腰了三朗

前一二〇 三五 家庭講座
州の最近事業に就いて「特務部員陸軍工兵中佐井上作巳」

後一五〇 野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ戦(慶應一立教)神宮球場より中継

後二〇〇 家庭大學講座
一西行法師の山家集に就いて(一) 吉田絃二郎

後六〇〇 (子供の時間)
長唄「綱目」唄和田みのり
三味線軒屋秀千代

後六二五 講演「實業補習教育に就いて」文部省社會教育官千葉敬止

後七三〇 講演
東北帝大交響管絃樂團
二高管絃樂團(獨唱)佐藤春代(指揮)細戸史朗

後八三〇 歌謡「くせつ」
二海眼寺一唄歌澤清子
由喜 三味線歌澤清子

後八四〇 義太夫「明烏大花燈」浄るり豊竹國司
三味線豊澤小住

政友部會 新館に移轉

石城政友部會では多年俱樂部が狹隘の爲め不便を感じてゐたが此程半町三丁目一番地警察署通りの新館二階建家屋に移轉し從來通り常任幹事山田忠太郎氏が居住して事務一切を取扱ふ事になつた

(四日)野球 庭球 弓道
大會(八日)陸上競技大會
(九日)武道大會

磐女バザール純益金 處分方決定

第一回の試としては
豫想以上の好成績

既報第一回の試みとして頗る好成績を擧げた磐女のバザールは其の賣上高千九百九十八圓七十二錢に達し純益金は三百六十四圓五十二錢を残したが之が處分に就いて昨日職員會を開いた結果左の如く決定したと

(十圓)磐城訓盲院に寄附
(十圓)平町方面委員助成

會に寄附(百七十圓)ミシン一臺購入(三十圓)毛糸編機十臺購入(二十五圓)化學部水道附洗ひ場設置(十五圓)圖書部電氣使用焼繪機購入(百圓)割烹部食器類購入(四圓五十二錢)繰越

江名産業視察 江名産業組合では來る廿七日午

自轉車で 衝突負傷

平町五月町居住菓子商鈴木己次郎(三)は本廿四日午前八時頃自轉車で新川町地内を疾走中曲角で出遇つた小名濱町字下明町居住住強口四郎(三)の運轉するトラックの後部に衝突轉倒し後頭部に全治一週間の傷を負つた

平町人事

回出生

△鎌田町二四 高田清二氏
長女陸子
△二丁目三〇 馬目吉三郎
氏次男榮二
△八幡小路八〇 坂本哲雄
氏四女尚子

回婚 姻

△古鍛冶町三 伊坂道雄
(四七)三丁目二九小野イ
ト(三〇)

